



10月1日は「磁石の日」 マグネシート®は端材までも無限の可能性！

+(プラス=N極)

-(マイナス=S極)



10月1日は
磁石の日!

日本の永遠の記念日である「磁石の日(十月一日)」は、未来の「マグワールドの創造®」を掲げて私たちニチレイマグネットが申請し、2008年に一般社団法人 日本記念日協会によって認定・登録されました。

日付は、磁石が「+(プラス=N極)」と「-(マイナス=S極)」の2つの極で成り立っていることに着目し、漢数字の「十」をプラス(+),「一」をマイナス(-)に見立てて組み合わせたことに由来します。生活空間から最先端技術に至るまで幅広く使われている磁石の特性や機能、そしてその可能性や価値をより多くの人に知ってもらうことを目的としています。

私たちは十数年前から、製品の製造工程で発生するマグネシート®などの端材・残材を、教材や工作用として全国の幼稚園や小・中・高校などに無償で提供する社会貢献活動を行っています。子供たちに各磁石の“面白さ”や“便利さ”を伝えるこうした草の根的な活動の延長として、記念日を設定し、さらに広く磁石の魅力を発信しようとしたことが背景にあります。

十月一日は単なる記念日にとどまらず、端材を活用したワークショップやリサイクル・リデュース・リユースなどの普及活動を通じてCO₂の削減にも役立てたいという願いのもと、永久磁石の魅力を体験的に学んでもらうきっかけの日となっています。



端材は社会貢献から新たな事業へ

マグネシート®が持つ「半永久的に着脱・移動・交換ができる」という素材の特性や機能は、子どもから大人、高齢者の方々に至るまで、誰もが扱う喜びや楽しさ、快適さ、そして癒やされる幸せを実感していただけるものです。この体験を届けることこそが、私たちが社会や人々に提供する真の意味・意義・価値であると考えています。

私たちは、各分野の各製品の製造過程で生じる端材や残材を応用・有効利用することで、世界の環境課題やゴミ削減という現実に向き合っています。端材の再利用を徹底することは、SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」の達成にも直結する重要な取り組みです。

磁石や「マグネシート®」の端材、さらには各製品の新たな活用領域を、皆様と共に考え、広げていきたいと考えております。人々、社会、日本、そして地球の未来に貢献するこの取り組みに、ぜひご賛同とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



マグネシートのバイオフィア株式会社 代表取締役 前橋 清

高島屋大阪店、株式会社ACTA PLUSとの協働企画! 端材を使用した2日間の子ども向け創作体験!

アートマグネットワークショップ - 廃棄物から生まれる、アートと暮らし -

- ◆ 開催日時 2026年10月17日(土)・18日(日) 各日 13:00~14:00(約60分)、15:00~16:00(約60分)
 - ◆ 会場 高島屋大阪店 7階 催会場「TSUNAGU MARKET」
 - ◆ 内容
 - 10月17日(土) マグネット端材を組み合わせつくるマグネットアート制作
 - 10月18日(日) マグネット端材でアート作品の一部を制作し、大村雪乃の風景画を完成させる
 - ◆ 定員 各回12名様(6歳以上 ※12歳以下は保護者同伴)
 - ◆ 参加方法 事前予約制(空きがある場合は当日参加も可能)
- こちらの高島屋大阪店ホームページよりお申込みください

